

愛知学院大学歯学部倫理委員会

令和3年度第1回会議 次第

令和3年5月13日（木）15:00～

I. 報 告

1. 令和2年度第6回倫理委員会議事録（案）（令和3年3月25日）
2. 委員長決裁について（5件）
3. その他

II. 協 議

1. 委員長決裁案件について（上記報告の5件）の承認
2. 新規申請の審査（5件）
3. その他

歯学部倫理委員会 名簿

	氏名	所属等	委員区分(選出母体)	任期
	本田 雅規	口腔解剖学講座教授	規程第4条(1)基礎系講座専任教員	2021.4.1～2023.4.1
	池田 やよい	解剖学講座教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
○	長谷川 義明	微生物学講座教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
◎	前田 初彦	口腔病理学講座教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
	杉田 好彦	口腔病理学・歯科法医学講座准教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
	長尾 徹	顎顔面外科学講座教授	規程第4条(2)臨床系講座専任教員	2021.4.1～2023.4.1
	野本周 嗣	外科学講座教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
	成瀬 桂子	内科学講座教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
	田淵 雅子	歯科矯正学講座准教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
	高木 敬一	法学部教授	規程第4条(3)倫理学・法律学の専門家等、人文・社会科学の有識者	2021.4.1～2023.4.1
	黒神 聰	元本学法学部教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
	柿田 憲広	元金城学院大学非常勤講師	規程第4条(4)研究対象の観点を含めて一般の立場から意見を述べることのできる者	2021.4.1～2023.4.1
	鏡山 典子	愛知教育大学職員 学務部学生支援課 障害学生支援室	〃	2021.4.1～2023.4.1
顧問	鈴木 慎太郎	法学部教授		2021.4.1～2023.4.1

令和3年度 第1回歯学部倫理委員会
インターネット公表一覧

1	実施責任者	公表不可
	研究課題	公表不可
	概要	公表不可
2	実施責任者	長尾 徹
	研究課題	デンタルX線画像から歯槽骨の骨密度を計測する基礎的研究
	概要	<p>口内法X線画像による顎骨の骨密度計測は解析できない。歯科用CTはハンスフィールド値が不正確なため、骨密度を求めることは困難である。一方、口内法X線画像が日常臨床に汎用され、これによる骨密度計測は歯科臨床において有用性が高いと考えられる。例えばインプラント治療ではインプラント埋入予定部位の歯槽骨骨密度が埋入術に有用な情報を与える。インプラント治療後の歯槽骨密度を経時的に観察したり、サイナスリフトなどの骨増生術の術後評価や経過観察のなかでの早期脱落症例の検出に有用になる。また、歯周病の進行と歯槽骨密度との関連が明らかになれば、歯周病治療の良いメルクマールとなり、さらには歯内治療における根尖病変治癒転帰と骨密度との関連など、その学術的意義は高い。今回我々は、歯科診療の過程で臨床的必要性から行われるデンタルX線画像から、歯槽骨の骨密度を計測するソフトウェア「DentalSCOPE(メディア社)(医療機器製造販売届出番号:第13B2XI0264000001号)」を使用して、副次的・二次的に骨密度を測定し、年齢別・性別・疾患別に骨密度データ蓄積することで、これまで明確になっていない歯槽骨骨密度の基礎データを把握することを本研究の目的とする。</p>
3	実施責任者	武部 純
	研究課題	顎補綴装置装着者における口腔機能低下症の実態と栄養状態との関連性に関する研究
	概要	公表不可
4	実施責任者	長尾 徹
	研究課題	三次元CTを用いた顎裂部骨移植術後の評価に関する研究
	概要	<p>顎裂部骨移植術は唇顎口蓋裂患者に対する形態学的、機能的な改善をはかるものであり、その目的は①連続した上顎歯列弓の獲得のため、②鼻粟基部の陥凹改善のため、③隣接歯を矯正治療により萌出誘導するためである。当講座は年間15例程度の顎裂部骨移植術を手掛けており、唇顎口蓋裂の歯槽部に存在する顎裂に対して自家骨(多くの場合、自家腸骨海綿骨細片)を移植する。この手術は多くの施設で行われているものの、手術時期のタイミングに関する論争が現在でも続いている。移植骨の生着に関する予後規定因子として、裂型(片・両側の別)、顎裂幅径、顎裂部誘導歯の位置、犬歯の歯根長、術前の顎裂部骨欠損腔容積、側切歯歯胚の有無などが報告されているが、渉猟し得る限り、経時的な3次元移植骨の吸収量に関する報告がなく、多変量解析による交絡因子に関する検討の報告は数少ない。三次元CT構築画像(以下:3D-CT)を使用して、従来の二次元画像では評価困難な移植骨の経時的変化を分析し、術後骨吸収量に留意した術式を得ること、および術後の骨吸収に留意する必要がある症例の検出を目的とした。本研究の成果は、顎裂部骨移植術の手術時期のタイミング論争の解決の一助となる可能性があるだけでなく、骨移植術の質的向上が期待される。</p>

令和3年度第1回歯学部倫理委員会議事録

日 時：令和3年5月13日（木） 15時00分

場 所：歯学部基礎教育研究棟 第1会議室

出席者：前田、長谷川、池田、杉田、長尾、成瀬、田淵、高木、黒神、柿田、鏡山、鈴木（顧問）
（事務）日比、近藤、永田

欠席者：本田、野本

開 会：15時00分

報 告

1. 委員紹介について

委員長から資料に基づいて、新委員の紹介があった。

2. 令和2年度第6回倫理委員会議事録について

委員長から、資料に基づき報告があり、原案どおりこれを了承した。

2. 委員長決裁案件について

委員長から、修正の上承認となっていた5件について、申請書類等の回覧審査を行い委員長決裁による承認とした旨、報告があった。

3. その他

なし

議 題

1. 委員長決裁案件について

委員長から提議され、修正の上承認となっていた5件について、委員長決裁としたい旨の説明があり、これを承認した。

2. 倫理審査について

委員長から提議され、新規申請4件、前回委員会時の保留（継続審議）1件の申請者から資料に基づき説明があり、研究実施計画等についての質疑応答、各申請課題の判定を行い、全会一致をもって、修正の上承認5件とすることを承認した。

3. その他

歯学部倫理委員会の審査を受ける前に、臨床研究 e-ラーニングサイト「ICR 臨床研究入門」の中の「基礎知識講座」を受講し、その修了証を提出することを、歯学部倫理委員会から教授会に提案し、審議を受けることを承認した。

次回委員会について

日時：令和3年7月8日（木）15時

場所：楠元キャンパス 基礎教育研究棟1階 第1会議室

閉 会：16時32分